

3/11

やわらかな光をともして 震災犠牲者を追悼

東日本大震災で犠牲になつた方々に哀悼の意を示し、復興を祈ることを目的に、福浦公民館上の公園(相撲場広場)で地元の小学生や地区住民が作ったペットボトルのランタンの点灯が行われました。

福浦自主防災会に所属し、防災士の資格を持つ松田恵子さんと菅原リエさんが「心の片隅に防災意識を持って生活してほしい」という思いで企画したもので、会場では72個のランタンの光が集まった人たちを包み込みました。



▲集まった人たちを包み込むランタンのやわらかな光

3/17

3年間の思い出を胸に 新たな旅立ち

町内の5つの中学校で卒業式があり、140人の3年生が卒業の日を迎えました。

御荘中学校では51人の生徒が、家族や先生、在校生に見守られながら式典に臨みました。式典では、卒業証書の授与が行われた後、宮下武浩校長の式辞や上田耕平PTA会長の祝辞が述べられました。その後、卒業生代表者が、学生生活の思い出や、関わった方々への感謝の言葉を述べ、式を締めくくりました。



▲緊張した面持ちで卒業証書を受け取る卒業生

3/21

馬瀬地区在住者が集い 交流

馬瀬地区在住の方が集い、つながりを深めようと「ふれあいカフェばせ」が馬瀬集会所で開催されました。

この取り組みは、「チームばせ」が主催したもので、当日集まった地区住民は食事を取りながら互いに交流を深めました。「チームばせ」の代表を務め、防災士の資格を持つ山田悦子さんは、「住民同士が触れ合うきっかけになればという思いで開催している。つながりを強めておくことで災害時にスムーズに連携できるのでは」と話しました。



▲「チームばせ」のメンバーが用意した食事を取る地区住民

3/24

町内の小学校で卒業式 127人が門出の日

町内の各小学校で卒業式があり、12校で127人の6年生が卒業の日を迎えました。

緑小学校では、4人の卒業生が教職員や在校生、保護者らに見守られる中、緊張した面持ちで式典に臨みました。式典では、吉田健一校長の式辞などが述べられました。卒業生は、小学校生活での思い出や支えてくれた方への感謝を言葉にし、「自分の描く輝く未来に向かって、一歩一歩大切に進んでいきます」と力強く語りました。



▲6年間の思い出を胸に卒業式に臨む4人



※記事中の児童生徒の学年は取材時(令和2年度)を基準に掲載しています。



▲感謝状を受け取るライオンズクラブの埜下会長(左)

3/29

南宇和ライオンズクラブに県知事から感謝状

南宇和ライオンズクラブが結成55周年を記念して、南レク城辺公園大森山桜園に桜200本を植樹したことが認められ、「愛媛県知事感謝状贈呈式」が行われました。

贈呈式では、愛媛県愛南土木事務所の高橋洋八郎所長から埜下浩孝会長へ感謝状が贈られました。

感謝状を受け取った埜下会長は、「感謝状をいただき、ありがとうございます。これからの会員の活動の励みになります」と話しました。



4/8

新1年生113人が小学校生活を開始

期待に胸を膨らませながら町内12の各小学校で113人の新1年生が入学式に臨み、6年間の学校生活をスタートさせました。

福浦小学校では、新入生を全校児童や保護者らが温かい拍手で迎え入れました。

「福浦小の1年生として、あいさつ・優しさ・元気の3つを頑張ってください」という今井純校長の呼び掛けに新入生は一生懸命耳を傾けていました。



愛媛CATV
動画



▲高齢者叙勲を受章した本田勝美さん(左)と妻の美智子さん

元御荘町議の本田勝美さんが高齢者叙勲を受章

昭和40年から52年までの3期12年間、旧御荘町議会議員を務められた御荘平城の本田勝美さんが、地方自治の振興や発展に寄与したと認められ、令和3年1月1日付けで高齢者叙勲・旭日単光章(地方自治功労)を受章しました。

本田さんは旧御荘町議会で総務委員長や産業経済委員長を歴任し、かんきつ栽培で得た知見を生かして長年にわたり議会活動に取り組みました。

今回の受章について本田さんは、「受賞することができて光栄です」と感想を述べました。



投稿写真

読者(町民)の皆さまが撮影した写真を掲載します。

久良の猫

人懐っこい猫たちは久良の名物といえると思う。公民館のバス停でバス待ちをしている時に、このかわいらしい猫によく会います。

▶撮影者：グッドウィン ダスティン

▶撮影日：2月25日 ▶撮影場所：久良

写真募集中!



愛南町ホームページ